

鹿児島郡地区の国・県指定文化財

1 国指定

令和3年4月末日現在

(1) 重要無形民俗文化財

名称	地域	指定年月日
① 薩摩硫黄島のメンドン	硫黄島	平成29年3月3日
② 悪石島のボゼ	悪石島	平成29年3月3日

(2) 天然記念物

名称	地域	指定年月日
③ アカヒゲ	南西諸島	昭和45年1月23日
④ オカヤドカリ	県本土南端部、南西諸島	昭和45年11月12日
⑤ カラスバト	三島・南西諸島	昭和46年5月19日
⑥ アカココ	トカラ列島	昭和50年2月13日
⑦ エラブオオコオモリ	口永良部島、トカラ列島	昭和50年2月13日
⑧ イイジマムシクイ	トカラ列島	昭和50年6月26日
⑨ 薩摩黒島の森林植物群落	黒島	平成23年9月21日
⑩ 宝島女神山の森林植物群落	宝島	平成24年9月19日

2 県指定

(1) 無形民俗文化財

名称	地域	指定年月日
⑪ 三島村硫黄島の九月踊り	硫黄島	平成2年3月23日
⑫ 黒島の盆踊り	黒島	平成25年4月23日

(2) 天然記念物

名称	地域	指定年月日
⑬ トカラウマ	十島村	昭和28年9月7日
⑭ タモトユリ	口之島	昭和28年9月7日
⑮ ミシマサワガニ	黒島、口永良部島、宇治群島	平成25年4月23日



文化財って何だろう？



日本の長い歴史のなかで生まれ、今日まで守り、伝えられてきた貴重な財産のことです。一度失ってしまうと、二度とはもどらないのです。ですから、わたしたちは、この文化財をこの先もずっと守っていく責任があるのです。

どんなものがあるの？

有形文化財

建造物、絵画、彫刻、工芸品、古文書など形のあるもので、歴史上または芸術上、価値の高いもの
 ★ 国や県、市などが指定する指定有形文化財と、所有者が自ら申請することで登録される登録有形文化財がある

無形文化財

演劇、音楽、工芸技術など形のないもので、歴史上、芸術上、価値の高いもの

民俗文化財

衣食住、行事、祭り、踊りなど、人間のくらしの移り変わりを知ることのできる用具や道具など

記念物

歴史上または学術上価値の高い史跡（貝塚、古墳、城跡など）、名勝（庭園、海浜、山岳など）、天然記念物（動物、植物、地質鉱物など）など

伝統的建造物群

周囲の環境と一体をなして歴史的なすがたを形成している伝統的な建造物群で価値の高いもの

令和3年度

鹿児島郡地区文化財

くにけんしていぶんかざい
国・県指定文化財



写真提供：三島村教育委員会

国指定重要無形民俗文化財
 薩摩硫黄島のメンドン
 平成29年3月3日指定(三島村)

わたしたちの地区には、たくさんさんの文化財があるんだね。自分の地域にある貴重な文化財を、もっと調べてみよう。



鹿児島教育事務所



① 薩摩硫黄島のメンドン《国指定》
 硫黄島の熊野神社では、旧暦8月1、2日に地域の人の邪気を祓う八朔太鼓踊りが行われます。3種類ある太鼓踊りの途中で仮面神メンドンがあらわれ、見物人を追いかけて手に持ったシパで悪魔祓いをします。
 平成30年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。

② 悪石島のボゼ《国指定》
 悪石島では、旧暦7月7日～16日に公民館の庭などで、精霊を慰める7種類以上の盆踊りが行われます。盆踊り最終日には、仮面神ボゼが現れ、邪気祓いのために、棒を持ち人々を追いかけて回します。
 平成30年11月にユネスコ無形文化遺産に登録されました。
 ※邪気・病気を引き起こす悪い気



③ アカヒゲ《国指定》
 全長約14cmでスズメくらいの大きさで、林の中を飛びながら、よく澄んだ声でさえずります。
 体の上は赤茶色ですが、雌は顔から胸が白の対し、雄は黒くなってヒゲのように見えることからこの名前が付けました。

④ オカヤドカリ《国指定》
 ヤドカリの仲間、成体は海岸付近の陸上で生活します。昼間は草むら、石の下に、夜になると砂浜や水辺に出てきて、えさをあさります。雑食性で野菜や魚を好んで食べます。

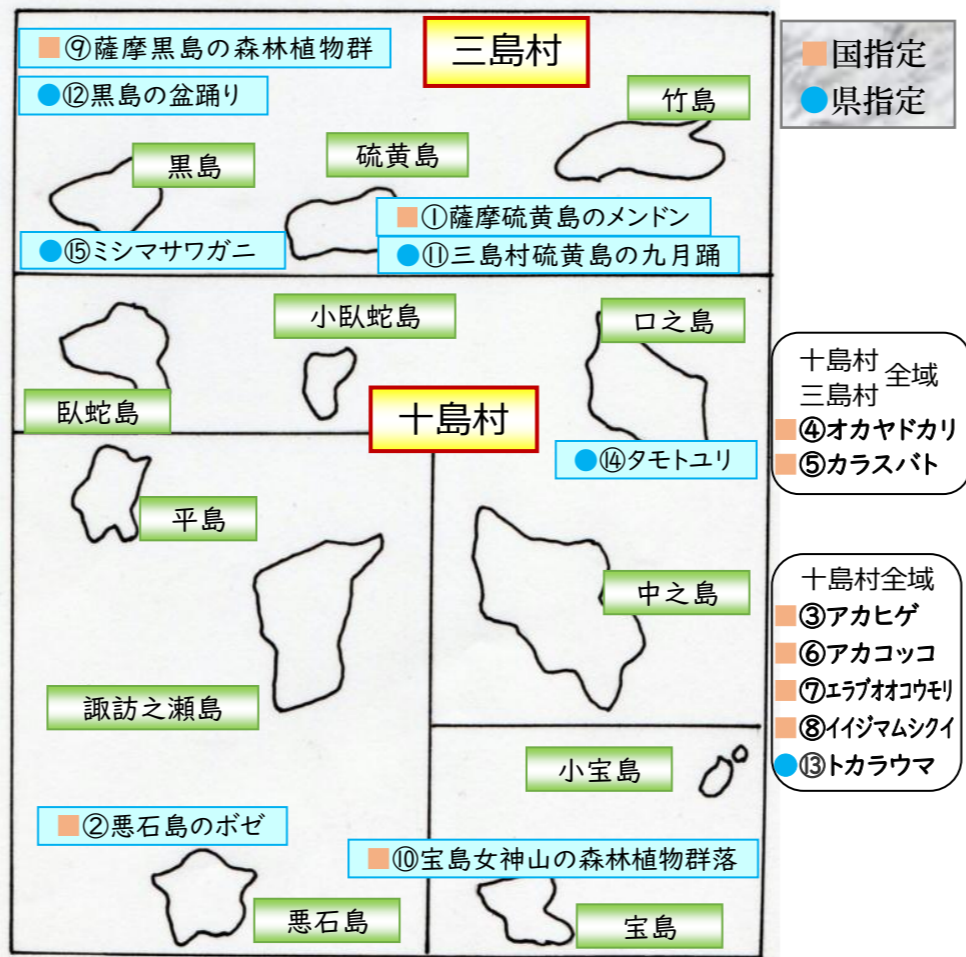


⑤ カラスバト《国指定》
 全長約40cmで、鳩より2回りほど大きい鳥です。よく茂った林の中に生息し、シイやツバキなどの実を食べます。光沢のある黒色の体で、留鳥として県内のほとんどの島に生息します。
 ※留鳥・一年中ほぼ同じ地域にすむ鳥

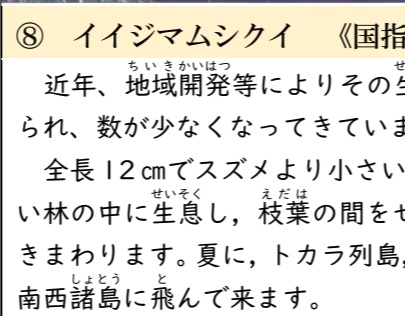
⑥ アカコッコ《国指定》
 全長約23cmで、ツグミぐらいの大きさの鳥です。主に薄暗い林の中に生息し、地上を移動しながら、ミミズなどの小動物や果実を食べます。
 留鳥として、トカラ列島と伊豆諸島だけに生息する日本固有の鳥です。



鹿児島郡地区の国・県指定文化財



⑦ エラブオオコオモリ《国指定》
 翼を広げるとカラスとほぼ同じ25cmほどの大きさです。昼間は林の中の樹にぶら下がって休み、夜になるとガジュマルやアコウの実や葉を食べます。口永良部島は、世界のオオコウモリ類の生息北限地です。
 ※北限・世界で最も北の限界



⑧ イイジマムシクイ《国指定》
 近年、地域開発等によりその生息地は狭められ、数が少なくなってきています。
 全長12cmでスズメより小さい鳥です。薄暗い林の中に生息し、枝葉の間をせわしく動きまわります。夏に、トカラ列島、伊豆諸島や南西諸島に飛んで来ます。



⑨ 薩摩黒島の森林植物群落《国指定》
 薩摩半島と屋久島のほぼ中間に位置する三島村で、一番西にある島が黒島です。
 黒島にはアカガシやシイ林に生えるハラシ、山頂部のケイビランなどの植物群落が良い状態で残されています。

⑩ 宝島女神山の森林植物群落《国指定》
 宝島にある女神山は、聖地として木々の伐採が厳しく禁じられています。
 タブノキ、スタジイ、ビロウ、ウバメガシの林など、学術的に貴重な自然林が残されています。



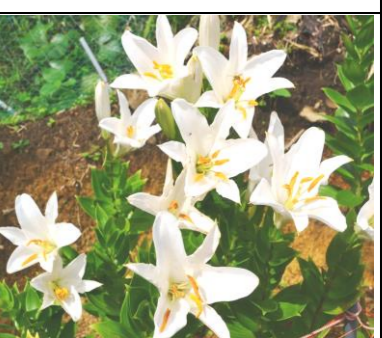
⑪ 三島村硫黄島の九月踊り《県指定》
 九月踊りは熊野神社に奉納する厳かな踊りで旧暦9月10日・11日に行われます。いろいろと決まりごとが多く女性だけの難しい踊りです。1日目の踊りは、お伊勢参りの途中の様子を表し、2日目の踊りは宮ガラス(先導の女性)の案内で参宮の様子を表しています。

⑫ 黒島の盆踊り《県指定》
 三島村の黒島にある片泊・大里の2つの集落には、お盆の時期に同じ時間帯に踊られる独特の盆踊りがあります。
 いずれも、病気や災害などで亡くなった人の霊をなぐさめる踊りです。



⑬ トカラウマ《県指定》
 体高110～120cmの栗色をした小さな馬で、たがみ、尾などの毛が長く密生しています。
 日本の純粋の在来馬で、明治30年頃、喜界島からトカラ列島の宝島に十数頭移入され、現在、県内各地で飼育されています。

⑭ タモトユリ《県指定》
 ユリ科の多年草で、十島村口之島西海岸の「タモトが浦」のほとんど垂直に切り立っているがけに自生しています。
 昭和28年9月に県の天然記念物に指定されています。6月～7月頃に、純白で上向きに花を咲かせます。



⑮ ミシマサワガニ《県指定》
 三島村の黒島、屋久島町の口永良部島、南さつま市の宇治群島にのみ生息しています。
 生息数が少ないため、絶滅の危機にさらされています。
 ※絶滅・死に絶え、滅びること

※ アカヒゲ、オカヤドカリ、カラスバト、アカコッコ、エラブオオコオモリ、イイジマムシクイ、ケイビラン、トカラウマは県立博物館提供、タモトユリの写真は、口之島小中学校提供